

平成17年6月27日

地震予知研究協議会議長
濱野 洋三 殿

「地殻活動情報総合データベースの開発」計画推進部会
部会長 海野徳仁

全国大学微小地震観測データ・データベース（仮称）について

平成13年第1回地震予知研究協議会（6月27日）において設置が承認された「過去の大学地震観測網のデータベース化」計画推進部会では、地震予知計画で整備された観測網によって取得されたデータをまとめてデータベース化することが、その責務とされました。

この計画推進部会の活動方針は、

- ・ データをまとめてデータベース化する方法を議論する、
- ・ データベース化するデータの範囲について議論する、
- ・ データの公開方法について議論する、
- ・ データを集め、データの評価を行い、どのようなデータベースを作るべきかを議論する、

ことが、第1回「過去の大学地震観測網のデータベース化」計画推進部会（平成13年8月29日開催）で確認されました。この計画推進部会において、データの収集・点検・検査などの実務的な作業は、地震研究所地震予知情報センターと（財）地震予知総合研究振興会地震調査研究センターが協力して実施していくことが承認されました。

これをうけて、（財）地震予知総合研究振興会地震調査研究センターに「微小地震データDB化検討委員会」が設置され、平成14年1月17日開催の第1回委員会から現在まで、データ収集、データ編集等の作業を実施してきました。

「過去の大学地震観測網のデータベース化」計画推進部会および「微小地震データDB化検討委員会」での検討の結果、

- ・ 電子ファイル化されている各観測網の微小地震震源データおよび験測値データをデータベース化する
 - ・ 上記の条件を満たす観測データを、2000年までの期間について収集する、
 - ・ 震源データおよび験測値データについて WEB 上で検索できるデータベースシステムを作成する、
 - ・ 「微小地震観測所要覧」の改訂版に相当する観測点情報も収集・収録する、
- これらの事項が合意されました。

現時点では、

- ・ WEB 上での検索システムがまだ試作段階である、
 - ・ 一元化震源データとの整合性を考慮して後から追加が決まった 1999 年～2000 年の期間の震源データおよび験測値データについては、まだ収録作業中の部分がある、
- という問題点が残っていますが、本計画推進部会では、以下の手順で本データベースの運用を実現したいと考えます。

- （1）平成17年10月を目処にデータ提供機関及び地震予知研究協議会が認める機関が利用できるデータベースを構築する、
 - （2）平成18年3月までに本データベースを一般公開する、
- 上記の件について、ご審議をお願いいたします。

以上

【別紙】

名称： 全国大学微小地震観測データ・データベース（仮称）
収録大学名： 北海道大学，弘前大学，東北大学，東京大学，名古屋大学，京都大学，高知大学，九州大学，鹿児島大学
収録期間： 各観測網のデータ提供可能期日から 2000 年 12 月 31 日まで
収録データ： 震源データ，験測データ，観測点情報データ（一部の機関のデータは未収録）
DB 検索： データ提供大学に貸与（地震予知研究協議会から）したノートパソコンから，
Oracle を用いて検索可能。
WEB 経由で震央分布などを参照しながら検索する試作版プログラムをテスト中。

以上